

第6回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第6回稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年12月27日(木) 19:00~20:00
3. 開催場所 稲築公民館2階 講義室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者

(1) 委員

会 長 松熊満江

副会長 永富靖人

委 員 大力智司、平岡真由美、橋本武彦、平井由子、荒川孝子

松岡琢磨、井上剛、上野二郎、高津圭一

*欠席委員1名 山本真之

(2) 事務局

学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治

教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐、教育企画係 山口陽子

(3) 関係者

※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者

株式会社 海渡設計

7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容

【議題】

- (1) 空間計画、平面計画について
- (2) その他

【協議の内容】

(1) 空間計画、平面計画について

○小中一体型校における教室形状について参考7に沿って説明を行った。(事務局)

○空間計画、平面計画についての主な意見について参考8に沿って説明を行った。(事務局)

(2) その他

○2月の協議会日程について、説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○生徒用ロッカーを教室外に置くイメージがわからない。死角にもなり、盗難や個人の荷物を把握できない等の心配がある。

→中学校は特に荷物が多く、今も教室のロッカーから荷物が溢れている現状である。十分

な大きさのロッカーを確保しつつ教室内も有効的に使用するために、教室外の身近なところにロッカースペースを配置することを検討している。また、将来的に教科教室型への移行も見据えて移動教室において個人で荷物の出し入れが可能な配置を検討している。セキュリティについては、先進地ではロッカーに扉や鍵を付けているところもあった。詳細は基本設計で配置が見えてきたときに学校と協議を進めていきたいと考えている。

(事務局)

- ロッカーの扉は中の荷物が把握できるように、透明な硬化ガラスやプラスチックが良いと思う。
- ロッカーの大きさは実際の荷物を参考に検討してほしい。
- 普通教室内に授業に使う分のロッカー、教室外に部活道具やその他入らないものを入れるロッカーがある方がいい。
- 生徒指導上の問題ではあるが、今は同じ学年でも他クラスへの立ち入りを禁止している。
- 避難時に学年ユニットが施錠されていることで、避難経路が閉ざされることはないのか。
→基本的に多方向に避難できるようにしなければならないとなっている。設計の段階で、消防法や建築基準法に適合させるため避難経路については特段心配ない。(事務局)
- 床暖房はあるのか。
→床暖房ではなく、今後は空調機の設備を検討している。(事務局)
- 特別教室数は子どもたちや教員に負担のかからない時間割が組める数がほしい。
- 屋上のスペースを太陽光発電の設置や、緑地化して子どもたちの遊び場等にできないか。
→屋上に太陽光発電は学習効果として設置している学校や、緑地化している学校もあるが、管理面からすると屋上に物を置くと雨漏りの原因にもなる為、嘉麻市では、それらを平面でスペースを取れるのではないかと考えている。(事務局)

9. 配布資料

- (1) レジюме
- (2) 第5回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 要点筆記
- (3) 第6回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料
 - <参考7>小中一体型校における教室形状について
 - <参考8>空間計画、平面計画についての主な意見
- (4) 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会日程 (予定)